



- 佐那河内村立図書館（農振センター3階）
- 開館時間 / 平日 9:00～12:00 13:00～17:00
- 閉館日 / 土・日・祝日・年末年始（12月29日～1月3日）
- お問い合わせ 教育委員会 図書館担当

## 新着本のお知らせ



12月に約100冊の新着本が入りました。その中で、利用者のみなさんからいただいたアンケートの回答を参考に選書した本について、ご紹介します。さまざまなジャンルの本が入っていますので、手にとって読んでいただければと思います。ぜひ図書館へお越しください。

書籍名	書籍名
脱プラチックへの挑戦：持続可能な地球と世界ビジネスの潮流：SDGs時代の環境問題最前線	地球の秘密
不毛地帯（1）～（5）	ヒキガエルとんだ大冒険（全7巻）
青の数学	森おばけ
色のない世界で、君と	アライバル
恐怖コレクター 巻ノ一 顔のない子供	子うさぎましろのお話
5分後に意外な結末 ほか7冊	番ねずみのヤカちゃん
5分で読書 扉の向こうは不思議な世界	どんぐりむらのぼうしやさん ほか4冊
ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー2	ピーターラビットのおはなし
	ふたりのねこ

## 佐那河内の人権教育 vol.299

### 1/24(月) 第7回人権大学講座を開催しました

最終回は、徳島県ハンセン病支援協会会長の十川勝幸さんを講師にお招きし、「ふるさとへ帰りたいー無知からの差別・偏見ー」と題し、ご講演いただきました。

ハンセン病は、感染力の弱い「らい菌」による感染症で、現在は治療も確立しています。かつて国が患者を強制的に隔離したことなどから、「うつりやすく恐ろしい病気」や「不治の病」という間違った情報が広まり、病気への不安や恐れから、患者やその家族が差別されてきました。

療養所に入るとふるさとに帰りたくても帰れず、家族と会う場所は駅前の喫茶店などで、ふるさとの土を踏むことはできなかったそうです。十川さんは「ふるさとが地球上で一番遠い」という回復者の人の言葉が印象に残っていると話してくださいました。

ハンセン病について学ぶと、新型コロナウイルス感染症との共通点も見えてきます。十川さんの講演の後、参加者のみなさんには、ハンセン病やコロナ差別の事例をもとに、差別を生じさせる原因“差別の根っこ（見えない心理）”を考えていただきました。その内容については次号でご紹介する予定です。

2021年度の人権大学講座は全講座終了しました。ご参加いただいたみなさん、ありがとうございました。



佐那河内人権教育研究協議会・佐那河内村教育委員会